

筑大広報第 05-122 号  
平成 17 年 10 月 17 日

筑波研究学園都市記者会 御中

筑 波 大 学

日本語・日本文化学類スロヴェニア・リュブリャーナ大学での  
出張講義について

本学の日本語・日本文化学類は、世界における教育・研究並びに我が国の国際交流に貢献する目的で、積極的な国際交流事業「The University of Tsukuba in the World（世界の中の筑波大学）」を企画し実施しておりますが、その一環として、10月24日(月)～26日(水)にスロヴェニアのリュブリャーナ大学において、別紙のとおり出張講義を行うことになりましたのでお知らせします。これは、7月23～24日に中国の大連大学において行った出張講義に続くものです。

なお、本件については、文部科学記者会にもお知らせしておりますことを申し添えます。

問合せ先：日本語・日本文化学類長室

電話 029-853-6764

FAX 029-853-6839

総務・企画部広報課

電話 029-853-2040

FAX 029-853-2014

平成17年10月17日

国際貢献プロジェクト「スロヴェニア・リュブリャーナの筑波大学」  
—リュブリャーナ大学に出張して日本語・日本文化学類教員の連続講義—

日本語・日本文化学類長  
今井 雅晴

## 1 国際貢献の重要性

今日、日本は国際化し、海外の人々から大きな恩恵を被っている。しかし海外の人々との交流を行なう際に、ともすれば摩擦を生じている。このような時代だからこそ、海外の人々と、より親しくなれるような草の根的な努力を日本の側からすべきである。そのためには積極的な国際貢献を心がけねばならない。

本企画は本学類の教員6名がスロヴェニア・リュブリャーナ大学に出張し、連続して講演を行ない、上記の目的のために働くというものである。

本年度はすでに7月に中国・大連大学で出張講義を実施し、大きな成功をおさめた。本企画はそれに続く本年第二回目の事業である。

## 2 日本語・日本文化学類の活動

### 正式名称と教員・学生数

筑波大学第二学群日本語・日本文化学類

教員： 21名

学生定員：1学年40名（現員として毎年50名程度が入学）

#### (1) 学類の性格

① 教育組織であること。

② 学類の教育目的：日本語および日本文化を海外の人びとに正確かつ的確に発信し、豊かに国際交流を進めることのできる人材を養成する。

・日本文化発信のための有力手段に日本語がある 世界の人々に日本語を教える技能も身につける。

現在、世界各国で日本語を学んでいる人は、約230万人。近年は中学生、高校生も増加してきた。

・1980年代、90年代の前半は日本の経済力に関心が集まっていた。

・90年代後半以降は、日本の文化に関心が移動しつつある（伝統的文化、アニメ）。

③ 海外の大学や留学生との交流も積極的に行なっている。

④ 多くの留学生を迎えており（人数は筑波大学18学類・専門学群で最も

多い)

- ・日本語・日本文化研修留学生（文部科学省が世界各国に募集。10月から翌年9月までの1年間）
- ・半年、1年の短期留学生（各種の奨学金を得る）

### 3 国際交流によって受けている恩恵

- ・多くの外国の大学と盛んに交流を行なうことによって、学生はもちろん、教員の受けている恩恵はばかり知れない。
  - 外国人の人たちの考え方、風俗・習慣など多くを知ることができている
  - 国際的感覚をいちはやく身につけられる
  - 世界各国に友人ができる
  - 外国で就職する卒業生も多い（特に日本語教育）
- ・受け入れている留学生は、最大限、大切にしている
- ・外国大学に出かけていき、個別にサービスをしている
  - 客員教授、講演、日本語教育・日本文化教育の指導

### 4 さらなる積極的な国際貢献

- ・日本語・日本文化学類教員の知的財産で組織的に貢献
- ・本学類の担当教員の専門は、日本語学・日本語教育・言語学・コンピュータ言語学、日本歴史・比較文学・歴史地理学・日本民俗学・文化人類学・文化交流史など多岐にわたっている。
- ・本学類では、これら専門の学問的特色を生かし、国際貢献の一環として海外の大学に出かけていき、諸分野の教員で連続の出張講義をしようするものである。  
今年度は海外の2大学で行なうことが決定（大連大学とリュブリャーナ大学）  
使用言語は日本語（いずれ英語を使用することも検討する）  
今年度のみでなく、向う十年程度を念頭に置く  
全体のプロジェクト名を「世界の中の筑波大学」とした  
個別の企画を、それぞれの国名・地域名・大学名から、例えば「中国・大連の筑波大学」などとする

### 5 リュブリャーナ大学について

#### ① 概要

- ・スロヴェニアは旧ユーゴスラヴィアの最北部の地域で1991年に独立を果たした新興の国である。北はオーストリアに、西はイタリアとアドリア海に、南はクロアチアに、そして東はハンガリーに接している。スポーツとしてスキーが知られているが、近年にはサッカーでも名をあげつつある。ワインと版画でも知られている若々しい国で、その首都リュブリャーナにあるのがリュブリャーナ

大学である。学生数は2万人余、1995年に文学部の中にアジア・アフリカ学科が創設され、同時に日本研究専攻が作られた。本年で満10年となる。本学類とは親しい関係にあるので、それを祝う意味もこめて出張講義を行なうこととした。

② 今回の国際貢献プロジェクトの内容

- ・出張講義 10月24日～26日
- ・出張者 教員6名
- ・6名の教員の連続講義 スロヴェニア語の通訳をつける。  
聴衆 リュブリャナ大学教員、学生

問合せ先：日本語・日本文化学類長室

電話 029-853-6764

FAX 029-853-6839

総務・企画部広報課

電話 029-853-2040

FAX 029-853-2014

国籍等別外国人留学生数一覧表 (平成17年5月1日現在)

国籍等	身分等	学群	大学院		研究生	その他	合計
			修士課程	博士課程			
アジア	アゼルバイジャン	—	—	1	—	1 1	2 1
	イスラエル	—	2 1	1 1	—	—	3 2
	イラク	—	—	—	1	—	1
	イラン	—	—	6 2	1	2 1	9 3
	インド	—	1	8 5	—	3 2	12 7
	インドネシア	1	4 2	11 1	—	2 1	18 4
	オマーン	—	—	1	—	—	1
	カザフスタン	—	—	1 1	1	2 2	4 3
	韓国	32 8	44 22	133 61	24 13	18 11	251 115
	カンボジア	1	2 2	3 1	—	—	6 3
	キルギス	—	—	—	—	1	1
	クウェート	1 1	—	—	—	—	1 1
	シリア	—	—	—	—	1	1
	シンガポール	1	—	—	—	—	1
	スリランカ	2	2	2 1	2 2	2 2	10 5
	タイ	4 3	6 5	23 10	7 3	7 3	47 24
	タジキスタン	—	2	1	—	—	3
	中国	47 24	92 49	215 108	59 35	11 7	424 223
	トルコ	—	1	3 1	1	—	5 1
	ネパール	—	3	2	1	—	6
	バキスタン	—	1 1	11 1	—	1 1	13 3
	バングラデシュ	—	3 1	21 7	2 1	—	26 9
	フィリピン	—	1 1	13 4	2 1	6 2	22 8
	ベトナム	2	1 1	2	—	1 1	6 2
	マレーシア	11 4	1 1	6 4	—	2 2	20 11
	ミャンマー	—	2 2	2 2	—	—	4 4
	モンゴル	2	—	2 1	2 2	1 1	7 4
	ヨルダン	—	1 1	—	—	1	2 1
	ラオス	—	1	1	—	—	2
	レバノン	—	—	2	—	—	2
	台湾（タイ완）	5 2	20 14	24 14	7 4	1 1	57 35
	ホンコン（香港）	1	1	—	—	—	2
大洋州	オーストラリア	1 1	—	2 2	—	3 3	6 6
	サモア	—	—	—	1	—	1
	ニュージーランド	—	—	1	—	—	1
	バヌアヌーギニア	—	—	1	—	—	1
	フィジー	—	—	1	—	—	1
アフリカ	アルジェリア	—	—	3 1	—	—	3 1
	エジプト	—	—	2	—	3 2	5 2
	エチオピア	—	—	3 1	—	1 1	4 2
	ガーナ	—	—	1	—	—	1
	ガボン	—	1 1	—	—	—	1 1
	ケニア	—	—	5 1	—	—	5 1
	コートジボワール	—	—	1 1	—	—	1 1
	ジンバブエ	—	—	2 1	—	—	2 1
	セネガル	2 1	1 1	2 1	—	—	5 3
	チュニジア	—	—	2	—	2 1	4 1
	ナイジェリア	1	—	2	—	—	3
	モロッコ	—	—	1	—	—	1
ヨーロッパ	ウクライナ	—	—	—	—	1	1
	英國	—	—	1	—	1 1	2 1
	エストニア	—	—	1 1	—	—	1 1
	オランダ	—	—	—	—	2	2
	ギリシャ	—	—	1	—	—	1
	スウェーデン	—	—	1	—	—	1
	スペイン	—	1	—	—	—	1
	スロベニア	—	—	2 1	—	4 3	6 4
	セルビア・モンテネグロ	—	1 1	—	—	—	1 1
	ハンガリー	1 1	—	2 1	1	—	4 2
	フランス	1	—	5 2	—	6 3	12 5
	ブルガリア	—	1 1	3 1	—	1 1	5 3
	ベルarusia	—	—	—	1	—	1
	ポーランド	—	—	2 1	—	3 2	6 2
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	—	—	1 1	—	—	1 1
	ボルトガル	—	—	—	—	1 1	1 1
	ルーマニア	6 5	3 2	3 2	—	—	12 9
	ロシア	—	1 1	7 7	—	3 3	11 11
北アメリカ	アメリカ合衆国	—	—	1	1 1	22 8	24 9
	エルサルバドル	—	—	—	1 1	1 1	1 1
	カナダ	—	—	4 3	—	—	4 3
	キューバ	—	1	2 1	—	—	3 1
	グアテマラ	—	—	—	—	1	1
	ジャマイカ	—	—	—	—	1	1
	ニカラグア	—	—	1	—	—	1
	パナマ	—	—	2 1	—	—	2 1
	ホンジュラス	—	1	—	—	1	2
	メキシコ	—	1	5 3	—	1 1	7 4
南アメリカ	アルゼンチン	—	—	1	—	—	1
	ウルグアイ	—	1	—	—	—	1
	エクアドル	—	—	2	—	—	2
	コロンビア	2	—	2	—	—	4
	チリ	—	—	3	—	—	3
	ブラジル	2	1 1	13 6	1 1	3 1	20 9
	ペルー	1	—	1	—	—	2
	ボリビア	—	—	1	—	—	1
合計（85カ国）		127 50	205 111	591 263	116 63	124 70	1,163 557

色数字は女子を内数で示す。

その他は、国費が学群の科目等履修生（14人）及び日本語研修生（18人）、私費が学群の特別聴講学生（65人）、大学院の特別聴講学生（3人）、特別研究学生（17人）及び科目等履修生（7人）である。